



令和元年台風第19号災害

10月12日から13日にかけて、日本列島を超大型の台風が直撃し、日本各地で甚大な被害が生じました。このたびの災害で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

日本赤十字社では、被災地へ医療チームの派遣、救援物資の配布などを行いました。



避難所で一人一人と向き合いながらの調査



備蓄している救援物資の配布



けがをしてしまった子どもの診察



救助された被災者の搬送

新潟県内でも、特別警報が出され、多くの県民のみなさまが不安な思いをされたことと思います。新潟県支部からも、県内各地に支部職員を派遣し、医療や物資のニーズ調査を行いました。また、県外で被害の大きい長野県と福島県に医療チームを派遣し、医療活動にあたりました。

裏面で新潟県支部の活動を詳しくご報告させていただきます。 ➡



台風第19号災害に対する新潟県支部の活動



信濃川の決壊（津南町）



阿賀町での被害調査



医療チームの出発式

- 上越市、津南町、阿賀町、長岡市に支部職員を派遣し、被害状況及び医療と救援物資のニーズ調査を実施し、避難所へ物資をお届けしました。
 - 長野県へ、医療チーム（医師1名、看護師2名、事務職員2名）を派遣し、救助された被災者の搬送や、避難所を巡回し、状況確認を行いました。
 - 福島県へ、医療チーム（医師1名、看護師2名、理学療法士1名、事務職員1名）を派遣し、避難所でのニーズ調査、巡回診療を実施しました。
- また、事務職員1名を日赤福島県支部へ派遣し、支部の支援を行いました。

医療チームとして福島県へ派遣した職員のコメント：

派遣先の福島県での活動は、須賀川市や郡山市における避難所の医療ニーズを確認し、赤十字としての継続的な支援について確認や本宮市の避難所巡回診療を行いました。また、いわき市では、保健所や行政機関と協議し、救護所を設置するための検討を行いました。（これらの内容を福島県庁に設置された医療調整本部に報告し、活動の方針が決定されます。）私たちは、地元の意向（想い）を尊重し「被災された方のために活動する」ことを考えながら、日赤以外の医療チームと一緒に活動してまいりました。これからも、被災された方に寄り添いながら活動してまいります。

日赤福島県支部の支援員として派遣した職員のコメント：

福島県庁に設置された医療調整本部において、日赤医療チームの活動調整を図るとともに、日赤福島県支部との連絡調整にあたりました。福島県には、日赤以外の医療チーム、こころのケアチーム等が派遣され活動にあたっていました。各チームとの連携を密にし、被災者の方々にとって最良の支援をお届けすることに全力を尽くしました。今なお、生活再建に時間を要する方もおられます。今後も、必要な支援をお届けできるように努めて参ります。

活動資金へのご協力 まことにありがとうございます。

赤十字が行う活動は、みなさまからの寄付金をもとに行わせていただいております。
 近年、災害が多発する一方、赤十字の活動資金は年々減少傾向にあります。
 これからも苦しんでいる人を救う活動を継続していくために、
 赤十字の活動へのご理解と、ご支援のほどよろしく願いいたします。



新潟県支部HPでも
 情報発信を行っています。



日本赤十字社 新潟県支部
 JAPANESE RED CROSS SOCIETY